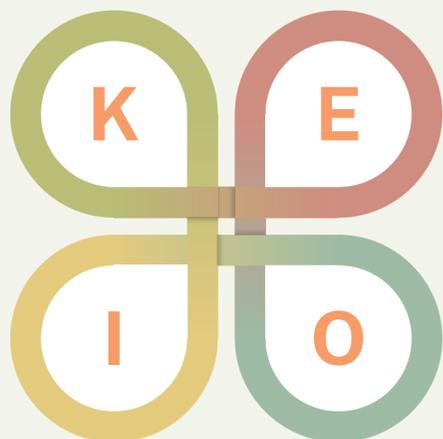




看護学専攻



入学のすゝめ



皆さんが看護経験で抱いた臨床的疑問は誰かが解明する必要があります。**Keio**慶應義塾大学大学院看護学専攻プログラムで**Evidence**に触れ、**Innovation**を起こし、あなた自身の**Objective**を達成してみませんか？

ここで修得した知識と技能と態度は、激動の時代を生きる皆さんにとって人生の道標になるはずです。

本学大学院進学の特長

看護学の専門性に対応した4領域（14分野）を設置し、専門性の高い実践家、研究者、教育者を育成しています。

1. 高い研究力の獲得

特定分野・領域の専門科目にとどまらず、様々な専門科目を履修することで視野を拓き、社会の健康水準の向上に貢献できる研究者の育成をしています。複数の海外研修を備えていることも大きな魅力の一つです。

2. 専門看護師プログラム

4分野に専門看護師（Certified Nurse Specialist: CNS）プログラムを設置し、高度実践看護師教育を行っています。本課程を修了することで専門看護師の受験資格の一つが獲得できます。

3. 豊富な奨学金

在学中に利用できる多くの奨学金があります。学内の奨学金には返還不要なものもあります。詳しくはHPでご確認ください。

4. 魅力ある教員

「健康」を軸として、看護・保健・医療・福祉・公衆衛生に関わる幅広い領域において先導的な役割を果たす教員が皆様をお待ちしています。（裏面をご覧ください）

5. 本学修了後のキャリアアップ

大学教員、病院、自治体、企業、機関、博士課程への進学など、それまでの経験と修士課程で培った知識を融合させて、新たなキャリアの創造が可能です。

大学院健康マネジメント研究科看護学専攻

専門分野のご案内

学際的で豊かな知識と高い倫理性に裏打ちされ、既存の枠組みにとどまらない構想力、複雑かつ先進的な健康課題を包括的に理解するための臨床判断能力、Evidence-based practice および理論や概念基盤に基づいた最善のアウトカムをもたらすケア実践能力を修得し、看護ケアの新しいあり方を開発・構築、実践できる人材を養成することを目的としています。看護学専攻専門分野は以下の14分野があります。(★CNS併設)

ライフステージケア領域

母性看護

周産期を含む母子と家族の健康に関する問題を広い視野で把握、分析し、課題を発見、解決するための方法を学び、研究者・実践家に必要な思考力/研究実践力の獲得を目指します。(細坂泰子hososaka・辻恵子tsujik)

老年看護



質の高い研究を実施し、その成果を学術論文として国内外に公表し看護実践の現場や社会にその知見を普及させていくことのできる人材(修士・博士課程)と、高齢者やその家族への質の高いケア・看護を実現できる人材(専門看護師プログラム)の育成に取り組んでいます。(深堀浩樹fukahori・新井康通yasuarai)

小児看護

病院に入院している子どもだけではなく、地域で暮らしている子どもとその家族、さらにその子どもと家族を支えている専門職の方たちを支えるために必要なスキルを身につけ、実践的に動くことが出来る人材育成を目指します。(添田英津子soeda・富崎悦子etomi)

基礎看護

看護実践の場面の看護の現象を言語化したり、そこに潜む看護技術を探究して、EBPに資する研究の推進を目指しています。高度実践看護の追究と、現場への実装・普及に活かす能力の向上に取り組んでいます。(鈴木美穂mhsz)

成人看護

脳卒中、糖尿病、心不全などの慢性・長期的な病いや障害をもつ人の最適な健康状態の維持・調整に焦点を当て、理論や概念、研究法を学び、より効果的なケアにつながる質の高い研究、教育、看護実践ができる人材育成を目指します。(矢ヶ崎香yagasaki・堀口崇takhorig・大坂和可子osakawa)

精神看護



精神保健医療福祉に係る課題を的確に把握・分析し、精神看護のあり方を探求し、対象のQOL向上に寄与する卓越した実践、研究ができる人材の育成を目指しています。(野末聖香nozue・増田真也smasuda・福田紀子nfukuda)

がん看護



がん医療における複雑かつ先進的な健康課題を探究し、最善のアウトカムをもたらす看護実践能力を修得するとともに、新たながん看護を開発・構築・実践できる研究・教育者および高度専門看護実践者の育成を目指します。(矢ヶ崎香yagasaki)

遺伝看護



遺伝/ゲノム医療の現状や課題を追究し、看護の新たな分野を開拓するための看護実践力を養います。高い倫理的感受性を養い、遺伝/ゲノム学の知識に基づき、人々の健康と心身の安寧を支える人材の育成を目指します。(村上好恵ymura)

先端看護

看護における問題解決力を高め、科学や科学技術における先進的な課題と真理を見出す力を養い、看護学の新機軸に挑戦していきます。看護学の基盤を強化するための学際的研究による専門基礎分野への寄与と看護実践や看護教育に貢献する人材の育成を目指します。(藤井千枝子chieko・宮川祥子miyagawa)

在宅看護

在宅ケアは住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために大きな役割を果たします。在宅看護実践やケア機関間の連携、ケアシステム構築等に焦点を当て、高度実践や研究に関与する人材の育成を目指します。(永田智子satokon)

公衆衛生看護

公衆衛生看護学において、デジタルトランスフォーメーション化する社会の変化などを踏まえつつ、鳥瞰的な立場で考えることのできる専門職や教育・研究者としての素養を育成します。地区診断やプログラム評価等の方法論を看護学の視点で学び高度実践力を身に着けます。また、基礎的な研究能力を習得し、公衆衛生看護学の発展に貢献できる人材育成を目指します。(田口敦子ataguchi・杉山大典dsugisfc)

国際保健看護

「すべての人に健康を」というグローバルヘルス分野における目標に向けて、現代社会における課題を明らかにし、健康格差の是正を目指し、看護が人々の健康にどのような貢献できるかを科学的根拠に基づきながら、実践・研究することができる地方を養います。それらをもとに、国際的に活躍できる人材の育成を目指します。(藤屋リカrfujiya)

看護管理・政策

優れた成果を生み出すマネジメントについて、従来の経営学に行動経済学等の観点を加えて幅広く探求し、高いマネジメント力を育成します。Evidence Based Policy Makingのプロセスを用いて政策分析を行い、政策提言に資する研究手法の獲得を目指します。(小池智子koiketom)

看護学教育

看護学教育の要となる知識・理論並びに方法論、技法を学ぶとともに、看護や教育に対する価値観や態度を養います。看護学教育を基盤に、看護専門職者の成長や発展を促進する働きかけについて実践的に学びます。(福井里佳fukufuku)

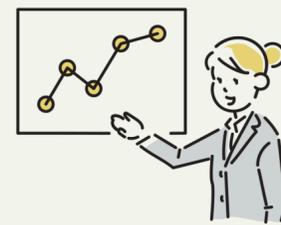
クリニカルケア領域

コミュニティケア領域

システムケア領域

* ご相談を希望される場合、看護学教育課程を修了されていない場合は必ず説明会・相談会にご参加頂き、研究相談は希望する看護学担当教員に直接ご連絡ください。連絡先アドレス：(教員名の後の英字文字列) @sfc.keio.ac.jp

研究科説明会・相談会



実施	日時	場所
第1回	5月11日(土) 17:00-19:00	三田キャンパス
第2回	8月23日(金) 18:30-20:30	信濃町キャンパス
第3回	9月14日(土) 17:00-19:00	三田キャンパス

- ・説明会・相談会では研究科の概要や各分野の情報収集、過去の試験問題の閲覧が可能です。
- ・出願を考慮している分野教員との面接を希望される場合には、該当分野の教員にご連絡ください。
- ・詳細は右記のQRコードからご確認ください。



入学試験日程（修士課程）

実施	試験日	合格発表日	出願期間
第Ⅰ期	2024年7月6日(土)	7月11日(木)	6月6日～6月12日
第Ⅱ期	2024年11月9日(土)	11月21日(木)	10月10日～10月16日
第Ⅲ期	2025年1月18日(土)	1月23日(木)	12月13日～12月17日

- ・希望分野の教員と受験前に面談することを推奨いたします。教員との面談を希望される場合は、個別に教員にご連絡ください。オンラインによる面談も可能です。
- ・看護学専攻受験生に向けた様々なQ&AをHPに載せています。受験に向けた対策や仕事との両立について、また奨学金や研究助成などについて、是非一度HPでご確認ください。
- ・博士課程についてはHP等でご確認ください。

入学試験科目（修士課程）

小論文試験、面接試験

- ・入学者選抜では研究への意欲や、研究活動の遂行に求められる課題設定能力・論理的思考力・分析力・説明能力等を多面的に評価します。
- ・過去問題はHPからWeb閲覧（一部）が可能です。全文閲覧は湘南藤沢事務室看護医療学部担当窓口で閲覧が可能です。詳細はHPでご確認ください。

修了生の声



私は5年間総合病院で勤めた後、健康マネジメント研究科（以下健マネ）に進学しました。この選択は母校への愛着と同時に、看護学だけでなく公衆衛生など他専攻の学生と交流できる環境が大きな決め手でした。自身の専門分野を追求する院生活の中で、医療従事者に限らない様々な背景をもつ同期・先輩後輩の存在は、私の視野を大きく広げてくれました。研究に関する基礎的な講座も充実しており、研究の所作を一から学べたのは、とてもよかったと思っています。慶應の縦の繋がりがもたらす国内外のネットワークで、多様な進路や働き方を知り、自分のキャリアに対する幅広い選択肢を得ることができました。また、奨学金制度も充実しており、私も三田会の支援を得て、金銭面の心配なく学修に専念することができました。これらは健マネの強みでもあり、私のキャリアの土台作りに欠かせない要素であったと感じています。

（母性看護分野 山内彩華）

血液内科で看護師として働いた5年間は、悩みや葛藤を抱えながらの日々でした。将来のキャリアに思い悩み、大学時代にお世話になった先生の後押しもあり、大学院進学を決意しました。進学後は、研究という形で臨床での課題を追究したいと思い、がん看護分野の論文コースで、患者さんへのインタビューを用いた研究を行いました。臨床では見えなかった患者さんの考え、感情にはハッとすることばかりで、それらを既存の理論や研究と結びつけて考えたことで、患者さんの思いをより深く理解することができたと感じています。看護師の憶測ではなく、患者さんの声に耳を傾けることの重要性を改めて認識すると共に、研究の結果が臨床へ還元されるよう、研究と実践を繋げていくことも重要だと実感しました。大学院で血液内科のみならずがん領域全体への関心も高まりました。卒業後は大学病院へ戻り、臨床経験を積み重ねながら、がん看護を探究していきたいと思っています。

（がん看護分野 服部渚沙）



Contact

Keio University



CALAMVS GLADIO FORTIOR
1858

慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科

〒252-0883 神奈川県藤沢市遠藤4411

Tel : 0466-49-6200

E-mail: nmc-staff-admissions@adst.keio.ac.jp

HP : <https://gshm.sfc.keio.ac.jp/education/nursing/>

* 看護学専攻のページのURLです

